

平成30年度 長与北小学校 学校評価(年間)集計

- ①児童・保護者・地域アンケート実施期間 (前期) 平成30年7月9日～18日 (後期) 平成30年12月6日～14日
 ②学校評価(自己評価)実施期間 (前期) 平成30年9月10日～9月14日 (後期) 平成31年1月21日～1月25日

<評価規準> 4 そう思う(100%-90%) 3 だいたいそう思う(89%-75%) 2 あまりそう思わない(74%-50%) 1 そう思わない(49%-0%)

項目	重点目標	児童		保護者		地域		職員		自己評価についての説明	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
心の豊かさ と自ら学ぶ力を 育てる 学校教育の充実	1 確かな学力を身につけた子どもを育てる。										
	①いじめ不登校への適切な対応	①学校は、いじめ対策の方針や取組を集会やホームページ等で知らせている。			2.7	3.2	3.3	3.3	3.2	3.2	○いじめ対策の方針は育友会総会や懇談会、HP等で啓発を行っているが、引き続き広く知らせていく。 ○今年度はスクールカウンセラーが本校に配置されたので児童や保護者の面談等を多く行うことができた。 ○悩みや困ったことを家族や教師に話す児童が増えてきていることは良いことだが、誰にも言えずにいる児童もいることを前提に教師・保護者はしっかりと子供と向き合っていくことが大切である。
		②学校は、児童理解やいじめの実態把握に努め、スクールカウンセラーや相談員との連携を図り、個に応じた指導を行っている。	3.4	3.4	3.0	3.1			3.6	3.6	
		③子どもは、いやなことがあった時は、家族や先生に相談している。	2.7	3.0	3.1	3.0			3.2	3.2	
②道徳教育の充実	①子どもは、道徳の授業で自分自身のことをよく見つめようとしている。	3.1	3.4	3.0	2.7			3.0	3.0	○道徳が教科化され、考える道徳、議論する道徳の授業が推進されている。実践化や自分自身のことを見つめなおすことができるように、引き続き、授業改善に努めていく。 ○児童は挨拶は十分にできていると思っているが、教師や保護者、地域の方々は十分でないという認識があり、数値的に大差が見られる。明るく元気な挨拶ができる子供の育成に今後も努めていく。	
	②子どもは、元気に挨拶をして生活している。	3.4	3.6	3.2	2.8	2.8	3.2	2.8	2.8		
2 基礎学力の充実											
①少人数授業の推進	①学校は、子どもに基礎的な学力を身につける指導を行っている。	3.6	3.1	3.2	3.0	3.4	3.6	3.6	3.6	○算数科を中心に書く活動と話す活動を重視した学習を指導し、11月にはその成果を発表した。各種学力検査の結果では学習内容の定着が十分でなかったもので、この結果を踏まえ、漢字や計算を中心に過去問題を繰り返し解く指導を継続していく。つまづきのある児童へは個別指導を行い、学力の底上げに全力で取り組んでいく。	
	②子どもは、学習規律(正しい姿勢、最後まで話を聞く等)が身につけている。	3.0	3.0	2.8	2.8	3.1	3.1	2.8	2.8		
	③子どもは、自分の考えを表現できている。	3.1	3.5	2.9	3.0	2.9	3.1	2.7	2.8		
②家庭学習の習慣化	①子どもは、家庭学習の習慣が身につけている。	3.3	3.7	3.0	3.2	2.9	2.8	3.0	3.0	○児童は宿題をしたと満足している割合が高いが、丁寧さや正確さは十分でないと教師・保護者は思っているので、引き続き、家庭と連携していく必要がある。	
3 健康安全教育の推進											
①基礎体力の向上	①子どもは、北小ファイトや体育の授業の中で、体力づくりに励んでいる。	3.4	3.5	3.5	3.2	3.6	3.3	3.2	3.2	○北小ファイト(朝のランニング)を日課の中に位置づけ、週一回の実施とした。回数を増やして欲しいという保護者の声もあるが、他県では熱中症による死亡事例が起きたことを踏まえ、子供たちの健康状態をしっかりと把握した上で、学習活動へ取り組むようにしなければならないと考える。 ○登下校中の歩行が良くない時があるので、全校で集まる機会の中で引き続き指導を行っていく。 ○生活習慣のチェックを定期的に行いながら、指導を引き続き行っていく。	
	②学校は、健康・体力も保持増進について子どもたちを指導している。			3.2	3.3	3.5	3.5	3.3	3.3		
	③子どもは、安全に気をつけて生活している。	3.8	3.3	3.2	3.1	2.9	3.1	3.0	3.0		
②早起・朝ご飯	①子どもは、「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身につけている。	3.1	3.4	3.1	3.2	2.7	2.8	2.9	2.9	学校関係者による評価(3.2)	

4 特別支援教育の充実										
ズ①一人一人に ②組織的な取組の充実	①学校は、一人一人の子どもを大切に した、きめ細かな指導・支援を推進して いる。	3.5	3.1	3.0	2.7	3.4	3.3	3.4	3.4	○保護者からは厳しい数値であるが、児童や地域、教師からは比較的高い数値である。学校の取組は特別支援教育通信を2週間に一度のペースで発行しているが、内容が十分に保護者へ伝わっていないことが考えられるので、今後も説明の機会を増やしていく。 学校関係者による評価(3.5)
	②スクールカウンセラーや相談員との連携を図り、個に応じた指導を行っている。	3.4	3.5	3.0	2.9	3.1	3.3	3.6	3.6	
5 国際化への対応										
①外国語教育の充実 ②地域の伝統文化の理解	①学校は、外国語指導助手(ALT)を活用した外国語学習を行い、外国語を用いたふれあいや対話の機会を取り入れている。	2.9	3.1	3.1	3.0	2.8	3.3	3.6	3.6	○毎週火曜日にALTとの授業を行っている。高学年を優先しながらも、低学年においても月に1回の割合で本物の外国語に触れる機会を作っている。 ○地域の伝統行事であるペーロン、伝統芸能である岡浮立、斉藤竜踊りを子供たちに体験させることで、ふるさとを愛する子供たちを育てると同時に、指導をされる地域の方々とのつながりも深くなるなど、高い成果があった。 学校関係者による評価(3.3)
	②学校は、全ての教育活動を通じて、地域の伝統行事などの体験的な学習や課題学習を取り入れて、主体的に行動するために必要な態度・能力を育てている。				3.3	3.2	3.3	3.3	3.5	
6 教育環境の整備										
①整理整頓、掃除の徹底 ②校舎内美化外の環境	①子どもは、後始末や後片付けをして生活している。	3.3	3.5	2.7	2.7	2.9	2.8	2.8	2.8	○昨年同様、児童は比較的高い数値であるが、教師・保護者との認識の差が大きい。多くの児童は昼休みには元気に運動場で遊んでいるが、言い争いなどのトラブルについては継続指導を行っていく。 ○校舎内外の美化に努めているので引き続き古くてもきれいな学校を目指していく。 ○学校・学級通信は定期的に発行されているが、ホームページに関しては更新が十分でなく、今後も定期的な更新を行っていく。 学校関係者による評価(3.3)
	②子どもは、もくもく掃除に取り組んでいる。	3.1	3.1	2.9	3.0				2.7	
①校舎内美化外の環境	①学校は、草刈りや剪定、花いっぱいに取り組む、校舎内外の環境美化に努めている。	3.4	3.1	3.2	3.0	3.3	3.2	3.2	3.2	学校関係者による評価(3.3)
	②学校は、学校・学級だより、ホームページによる広報活動の充実を図っている。			3.1	3.2	3.3	3.3	3.2	3.2	
7 教職員の資質向上										
①授業力の向上	①学校は、電子黒板やコンピューターなどのICT機器の活用を推進し、教育効果を高める工夫を行っている。	3.5	3.5	3.0	3.0	3.6	3.4	3.3	3.3	○子供たちは、タブレットを使った授業やパソコン室での授業を多く経験しているので、さらに学習効果を高める授業を進めていく。 ○毎時間、「めあてーまとめ」を徹底し、学力の向上に向けて取り組んできているが、まだ、望む成果が得られていない。漢字や計算等の基礎学力の向上を全校でおこなっている。まずは、4月のながよ検定全員合格をめざす。 学校関係者による評価(3.3)
	②先生は、子ども一人ひとりの力を伸ばす授業を行っている。	3.6	3.0	3.0	3.0	3.2	3.5	3.3	3.3	
②保護者・地域との協力	先生は、学級だよりや連絡帳、懇談会、会話の中で子どもの様子について伝えている。			3.3	3.3			3.3	3.3	○子供や保護者からの相談や訴えに真摯に耳を傾け、解決に向けて学校は全力で取り組んでいるが、満足いく内容となっていない場合もあると思われる。粘り強く会話を続け、よりよい解決をめざしていく。 ○学校では情報を共有し、全職員が一丸となって取り組んでいることをもっと伝えていきたい。 学校関係者による評価(3.3)
	先生は、子どもや家庭からの相談や意見、要望に親身になって対応している。	3.4	3.5	3.3	3.2	3.2	3.2	3.5	3.5	
	学校は、責任と使命を自覚し、一致団結して教育に取り組んでいる。			3.0	3.1	3.4	3.3	3.5	3.5	